

## 第 53 回（令和 6 年度第 2 回） 暁木会・KTC・神戸大学意見交換会 議事録

■日 時：2024 年 10 月 17 日(木) 17 時 30 分～19 時 30 分

■場 所：神戸大学工学部「AMEC3」

■出席者：神戸大学 中山先生、竹山先生、三木先生  
暁木会 黒澤会長、坪本副会長、永井副会長、奥西幹事、谷口幹事、神吉幹事  
KTC 濱村理事、室井監事

■議 事：

### 1 暁木会会長あいさつ

黒澤暁木会会長よりあいさつ

### 2 KTC 副理事長あいさつ

濱村 KTC 理事よりあいさつ

### 3 市民工学専攻長あいさつ

中山市民工学専攻長よりあいさつ

## <意見交換会>

### 4 暁木会からの報告

○ホームカミングデイ「橋の学校」イベント(資料1)

(暁木会)

- ・10 月 26 日(土)に開催されるホームカミングデイにて、「橋の学校」を開催予定
- ・小学 3～6 年生 16 組参加予定であり、4 つのコンテンツを体験頂く予定  
(橋の模型製作、レンガアーチ体験、強い橋を作ろう、木製キットの組立(ダヴィンチの橋))

○学術振興基金助成金の活用に関するアンケート(資料2)

- ・助成金の使途に関して、学生の意向を把握するためのアンケート調査(案)を作成

(暁木会)

- ・海外に限らず、国内でのフィールドワーク等も助成対象にして、興味のある分野を学べる機会を支援するのはどうか。

(KTC)

- ・KTC にて海外への留学費用等の一部を助成している。今年、市民工学科から 2 人がエントリーしており、参加者からは海外で学んだことをフィードバックして頂いている。
- ・その他にも、TOEIC 等の受験料の補助を行っているが、KTC と連携して助成金の活用が図られたらいいと思う。

(暁木会)

- ・海外への留学は学生自らが行先を決めて、エントリーされているのか。

(大学)

・学生自らは行先を決めて助成の申請を行っている。

(暁木会)

- ・KTC との連携であれば、例えば、KTC の助成対象にならなかった学生をフォローする、もしくは国内も助成対象にするなど考えられる。
- ・身近な使途として、例えば卒業論文の執筆時の差し入れや資格取得の受験料なども記載しておけば、学生も意見が出しやすいのではないか。

(大学)

・頂いた意見を踏まえ、アンケート内容を見直し、学生に回答頂くようメールにて依頼する。

○暁木会ニュースの発行(資料3)

(暁木会)

- ・令和7年3月発行予定の暁木会ニュースの目次・スケジュールについて報告
- ・各原稿の執筆について、今後個別に調整させて頂く予定

## 5 KTC からの報告

(KTC)

- ・来年、工学部同窓会 100 周年、KTC 設立 50 周年を迎えることから、令和7年 11 月に記念行事を実施予定。2029 年には暁木会 100 周年を迎えることから、来年の開催状況も参考にしながら検討してはどうか。
- ・海外渡航の助成金について、7 名の学生から申請頂いている。市民工学科からは 2 名申請頂いているが、積極的に活用頂きたい。
- ・KTC への入会状況であるが、昨年度に比べて大幅に入会率が増えている。(約 90%)

## 6 神戸大学からの報告

(大学)

- ・今年 4 月に開催頂いた業界説明会について、令和 7 年度から授業カリキュラムの見直しに合わせて、第 2 クォーターの時期に授業として実施頂けないか。公共施設工学及びプロジェクトマネジメントの授業を集約する予定であり、6 月～7 月の金曜の午後(2 コマ 13:20～16:40)もしくは 2 週×2 コマの 4 コマを業界説明会に充てることできる。
- ・OB の方に参加頂くにあたり、大学側から協力依頼の文書は出させて頂く予定。

(暁木会)

- ・大学からの依頼があれば、企業も動きやすいと思うが、業界説明会であれば暁木会を通して実施した方がいいと思う。
- ・インターンシップ前で業界を知りたいという学生、個社のことを知りたいという学生、2 パターンいると思うが、前回の業界説明会では個社の色を出来る限り消して頂きながら、OBの方々にはご参加頂いた。

(大学)

- ・学生からすれば、色々な企業を知る機会にもなると思う。

(KTC)

- ・今年4月の開催時には女性のOBがいなかったので、次回は参加頂いたらどうか。
- ・KTC・暁木会の認知度の向上を目的に始めたが、学生の就職活動にも役立つよう、学生の意向を聞きながら開催し、OBに相談しやすい機会になればいいと思う。

(大学)

- ・実施にあたっては、暁木会OBであることを説明頂いた上で、座談会を開催頂ければと思う。
- ・各業界の役割については、前段の授業で一定理解が進んでいると思うので、後半の7月の授業にて実施して頂ければスムーズではないか。

(暁木会)

- ・今年、参加されたOBの方からのご意見を反映しながら、まずは7月の2コマの時間を頂き、開催する方向で検討させて頂きたい。今年4月は2時間であったが、2コマとなると3時間以上あるので、時間にゆとりを持って開催できると思う。
- ・令和8年度以降は、次回の開催状況を踏まえ、引き続き検討させて頂きたい。まずは、令和7年度の内容を協議させて頂きたい。

## 7 その他

(大学)

- ・12月7日(土)に学生主催のフットサル大会(暁木会カップ)を開催する予定。  
昨年度は、六甲アイランドのフットサル場のコート代の一部に助成金を活用させて頂いたが、今年は海事科学部にあるフットサルコート进行する予定のため、コート代は抑えられる見込みである。
- ・助成金を活用させて頂くとすれば、どういった活用が望ましいか。

(暁木会)

- ・何人くらい参加されるのか。参加された学生さんに参加賞を設けてはどうか。

(大学)

- ・50人程度参加予定である。

(暁木会)

- ・1人当たり1000円としても5万円程度なら予算内で十分対応できるのではないか。

(大学)

- ・参加賞として助成金を活用検討させて頂く。

以上